

No. 1603

食中毒にご用心

——東京・立川——

7月から9月にかけて食中毒の発生が多い季節で、年間の6割がこの時期に集中しています。東京・立川にある立川保健所でも、食品衛生監視員がスーパーや食品店の立入検査を行っています。棚に並べられた食品を念入りにチェックして、適正な管理、取り扱いがされているかを監視指導しています。また監視員は料理室に立入り、マネイタや料理人の手からサンプルを採り検査することによって、食中毒防止に努めています。一方、おかもちの並ぶ市内の集会場では、ソバ屋さん80軒が先週行われた検査の結果発表や食中毒防止の講習会に集まり、食品衛生に強い関心を示していました。これから暑い日が続きます。お店だけでなく家庭でも食品の取り扱いに気をつけたいものです。

自民「党首隠し」

——参院選スタート——

第15回参議院通常選挙は7月5日公示され、23日の投票日に向けて激戦の日ぶたを切りました。各党首の第一声は社会党は名古屋、公明党は池袋、共産党は新宿と各党、力のこもった演説でスタート。一方新潟・東京で連敗し厳しい選挙となった自民党の総裁でもある宇野首相の第一声は、東京永田町の党本部中庭で行われました。自らの女性問題がたたき、どこからも遊説の要請がない宇野首相。「逆風とはリクルート事件であり、その他もろもろのことだ、心から反省し、たとえ自民党に出血を強いることがあっても政治の大改革を実行しなければならない」と演説。宇野首相はダルマの片目に目を書き入れたあと宣伝カーに乗ったものの、党本部の外で降りそのまま官邸に直行という異例の出陣式。本来第一声となるべき新宿駅前の自民党宣伝カー。宇野首相の姿は勿論なく、応援演説の数も少なくはなやかな自民党の雰囲気はどこかへ消えてしまったようです。リクルート事件、消費税、農産物自由化の三点セットに首相の女性問題が加わり、自民党には逆風が強まっている様子。自民党が過半数を維持できるか、与野党逆転がなるかどうか、激しい夏の陣となりそうです。